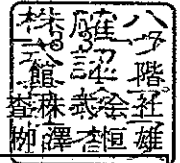




受付日：平成30年2月6日
 受付番号：HP18-KT011

接合部性能試験成績証

東京都港区芝5
 徳栄ビル本
 ハウスプラス確認検
 代表取締役社長



試験結果は以下のとおりであることを証明する。
 平成30年5月28日

1. 接合金物名称	クリホールダウンⅢ40 (枠材30mm対応) KHDⅢ-40W30
2. 試験依頼者	株式会社栗山百造 〒955-0096 新潟県三条市井戸場84-9
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。
4. 試験内容	柱頭柱脚接合部(アンカー型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「クリホールダウンⅢ40 (枠材30mm対応) KHDⅢ-40W30」 1個</p> <p>部品1(添え板部) 材 質: SPHC (JIS G 3131^{*1}) 寸 法: 外形 38mm×265mm 板厚t=6mm 接合具用孔10-φ7.4mm 表面処理: ダクロタイト^{*2}</p> <p>部品2(コの字形部) 材 質: SPHC (JIS G 3131^{*1}) 寸 法: 外形 26mm×42.5mm×60mm 板厚t=4.5mm 表面処理: ダクロタイト^{*2}</p> <p>2) 接合具</p> <p>「クリ鍋ビス 7×90」 10本 材 質: SWCH22A(JIS G 3507-2^{*3})相当材として以下の化学成分を満たすもの C(0.18~0.23%), Si(0.10%以下), Mn(0.70~1.00%), P(0.030%以下), S(0.035%以下), Al(0.020%以上) 寸 法: 頭部径φ11mm ねじ山径φ7mm ねじ谷径φ4.8mm 全長L=90mm ねじ部L=50mm (先端形状はとがり先とする) 表面処理: Ep-Fe/Zn 8/CM2(JIS H 8610^{*4})</p> <p>「六角ボルト M16×340」 1本 材 質: SWRM8(JIS G 3505^{*5}) 寸 法: M16 L=340mm 表面処理: Ep-Fe/Zn 8/CM2(JIS H 8610^{*4})</p> <p>3) 軸組材料</p> <p>柱: 105mm×105mm×1,000mm スギ 無等級材 含水率: 9.5~15.5% 全乾密度: 0.37~0.48g/cm³</p> <p>枠材: 105mm×1,000mm 厚さ30mm スギ 無等級材 含水率: 13.5~14.0% 全乾密度: 0.34~0.43g/cm³</p> <p>4) その他</p> <p>柱材と枠材の接合: 鉄丸くぎN75 17本 ※詳細については、接合部性能試験報告書図3.1を参照</p> <p><small>*1 JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯 *2 ダクロタイトは、NOFメタルコーティングス株式会社の商標登録 *3 JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼-第二部;線 *4 JIS H 8610 電気亜鉛めっき *5 JIS G 3505 軟鋼線材</small></p>
6. 試験条件等	試験体は、実状に合わせた仕様とした。 試験体の固定は、「M16六角ボルト」「M16六角ナット」を用いて、鉄骨架台に手締めにて固定した。
7. 試験結果	短期基準接合耐力 42.9 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜第二試験所: 神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番
9. 試験実施日	平成30年3月1日、2日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 所 義登

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。